



6/14

地域を災害から守るボランティア

十和田市消防団観閲式

官庁街通りと中央公園緑地で「平成 27 年度十和田市消防団観閲式」が開催されました。

観閲式では、消防団員 715 人と消防団車両 44 台を小山田市長らが巡閲した後、角田弘信消防団長の総指揮の下、分列行進が行われました。続いて中央公園緑地で、長年消防団活動に尽力された団員や団体などに表彰が行われました。近年、多くの自然災害が発生する中、消防団の活動に注目が高まっています。



現在、十和田市の消防団員は 750 人。そのうち 20 人が女性です



B-1 グランプリで全国から訪れた皆さんに、花の美しさと共に命の花の思いが伝わりますように

6/12

ペット殺処分ゼロ社会を目指して

十和田ガーデン花街道×命の花プロジェクト

十和田ガーデン花街道（小嶋敏子代表）が、三本木農業高校（瀧口孝之校長）の『命の花プロジェクト』の植栽方法を用い、わんぱく広場保育園（畑中恵美子園長）の園児と共に、官庁街通りに花の苗を補植しました。

『命の花プロジェクト』は、ペットの殺処分ゼロ社会を目指して、殺処分された犬や猫の骨を細かくし、土に混ぜて花を育てることで動物たちの生きたかったという思いを遂げたいと、平成 24 年から活動しています。

6/10~12

「階段って不便だね」「信号は危険がいっぱいだね」

三本木小学校児童が障害の疑似体験

三本木小学校（福寿邦彦校長）の 5 年生が、官庁街通りなどで市社会福祉協議会（江渡恵美会長）の協力を得て、障害の疑似体験をしました。ペアを組み、車イス体験者とその介助者、視覚障害体験者とその介助者に分かれ周辺を歩くなど、全ての役割を順番に体験し、障害者と介助者の不便な事や気持ちを理解しました。

障害者やお年寄りなどにやさしい地域・人づくりが教育の中でも進められています。



「3時の方向に曲がってください」「自転車が来ますよ」などと介助者が声を掛け、危険を知らせていました



集まった約 30 人の関係者は、貴重な展示に見入り、桂月に思いをはせました

6/10

没後90周年功績をたたえて

鳶温泉に大町桂月資料館が開館

全国に十和田湖の魅力を紹介した文人、大町桂月の資料館（小笠原正明館長）が、桂月が晩年居住した鳶温泉の施設内に開館しました。

式典では桂月の孫である大町芳章さん（東京都在住）が「桂月が熱愛したこの地に資料館ができ、ありがたいです」と感謝の言葉を述べました。小山田市長は、開館を祝うと共に「観光交流センター『ぷらっと』の展示と結び付けてご覧頂きたい」と期待を込めました。